

令和6年2月吉日

日本正常圧水頭症学会会員医師 各位

日本正常圧水頭症学会 理事長  
高知大学医学部神経精神科学講座 教授  
數井 裕光

日本正常圧水頭症学会 会員  
大阪大学大学院医学系研究科精神医学 講師  
鐘本 英輝

## 「専門機関での特発性正常圧水頭症患者へのタップ テスト施行法の実態調査」へのご協力をお願い

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より、特発性正常圧水頭症 (idiopathic normal pressure hydrocephalus: iNPH) 患者様に対する診療連携では大変お世話になっております。さて、日本正常圧水頭症学会では、これまでに iNPH 診療ガイドラインを作成して参りましたが、認知症診療医の中で iNPH 患者の診療を積極的に行う医師はいまだ少ないことが問題となっております。その理由の1つとして、iNPH の診断や手術適応の判定のために実施される脳脊髄液排除試験 (タップテスト) の具体的な方法が周知されていないことが考えられます。そこで、我々はタップテストの方法の周知の一助のため、タップテストの解説書および解説ビデオの作成および公開を計画いたしました。これに際して、日本正常圧水頭症学会員のうち iNPH 診療を専門的に実施している医師の方々に対して、iNPH 患者に対して施行するタップテストの方法等についてのアンケート調査のご協力をお願いする次第です。

アンケート調査は、無記名自記式で、アンケートフォームは、ウェブサイト上に作成しました。アンケートへの回答に要する時間は15分程度です。一施設の一診療科につき代表で一人の先生にご回答いただければと存じます。また本研究は、大阪大学医学部附属病院倫理審査委員会および高知大学医学部倫理審査委員会での承認を受けております。

本アンケート調査結果を認知症診療医が知ることは、iNPH 診療をこれまで行っていない医療機関において iNPH 診療を実施する一助となるだけでなく、すでに iNPH 診療を実施している施設におけるタップテストの質の向上にも有用であると考えております。ご多忙な日本正常圧水頭症学会員の先生方の貴重なお時間をいただくことになるのですが、趣旨をご理解いただき、何卒、ご協力をよろしくお願い申し上げます。ご回答の期限は令和6年2月29日とさせていただきます。

なお、本調査は、令和4-6年度厚生労働省科学研究費補助金事業「認知症診療医のための『特発性正常圧水頭症の鑑別診断・アルツハイマー病併存診断と治療、および診療連携構築のための実践的ガイドブックと検査解説ビデオ』作成研究（研究代表者：高知大学医学部神経精神科学講座教授・日本正常圧水頭症学会理事長 数井裕光）」の中で実施される研究事業であることを申し添えます。

アンケートフォームのウェブサイトへのリンクは会員の先生方に電子メールおよび郵送で通知させていただきます。

謹白